

平成三十年七月十八日提出
質問第四八三号

米軍厚木基地の騒音問題に関する質問主意書

提出者

もとむら賢太郎

米軍厚木基地の騒音問題に関する質問主意書

平成三十年三月三十日、米空母艦載機の米軍厚木基地から岩国基地への移駐が完了した。この移駐は、平成二十七年九月十八日の「衆議院議員本村賢太郎君提出厚木基地空母艦載機の岩国基地への移駐に関する質問に対する答弁書」によれば、「米軍の抑止力を維持しつつ、騒音等の地元の負担を軽減するためのもの」であり、本件移駐により、厚木飛行場周辺の騒音状況は、現状より改善されるものと考えている」と政府の見解が示されているところである。

防衛省によれば、今年四月～五月の騒音状況を大和市および綾瀬市で測定したところ、百デシベル以上の測定回数が最大約九割減少している。他方、両市において共に二十八回、百デシベル以上の騒音が発生しており、依然として騒音被害は存在している。

これらを踏まえ、以下質問する。

- 一 厚木基地における騒音問題について、政府は現状をどのように認識しているのか。
- 二 住宅防音工事の範囲や、NHKの受信料減免地域などを今後見直すことはあるのか。

右質問する。